

第4回 多古町総合振興審議会・多古町総合戦略推進会議 議事録概要

開催日：令和2年2月19日（水）
場 所：多古町役場 大会議室
時 間：午後3時～

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 次期総合戦略のパブリックコメント結果について

資料に沿って事務局より説明を行った。資料や説明に関する委員からの意見は以下のとおり。
なお、今回も前回と同様にオブザーバーとして外部有識者が参加している。

(会 長)：パブリックコメント結果について説明いただいた。こちらの内容で問題なければ、結果について公表させていただく手続きになるとのこと。パブリックコメント結果について了承いただけるか。

(全委員)：異議なし。

(会 長)：それでは、パブリックコメント結果についてはこちらの内容で、ホームページに掲載し公表いただくということ。また、それらの意見を踏まえて修正を加えた総合戦略についてもこちらの会議にて確定の手続きをするとのこと。総合戦略についても、了承いただけるか。

(全委員)：異議なし。

(会 長)：それでは、審議会としては、総合戦略は了承ということで。もし、これ以降に修正点等あれば、来週火曜日までに事務局の方に連絡いただければ修正は可能とのことなので、委員の皆様も何かあれば連絡いただくようお願い申し上げます。

(2) 次期総合計画の基本構想骨子案について

資料に沿って事務局より説明を行った。資料や説明に関する委員からの意見は以下のとおり。

(会 長)：今時点で決定していることは、まずは計画期間。こちらは前回までの審議会にて議論いただき、こちらの計画期間で決をとらせていただいている。さらに、基本政策等の部分については、本日の審議会で見解をいただきたいとのこと。

まずは私の方から意見させていただくと、基本政策6で「未来につながるまちづくり」という新しい柱が出ているが、「未来につながる」という言葉を使うと、イメージとしては「人づくり」の部分強い印象。また、計画全体が未来につながるまちづくりを語っているので、新たな項目として未来という言葉が入ってくるとわかりづらい。空港や圏央道の内容を書きたいのであれば、文章表現をもう少し変えた方が良く思う。また、「たこ？どこ？ここ！」といったPRや移住・定住の部分はどの柱に含まれるのか教えてほしい。

- (事務局) : 「たこ？どこ？ここ！」をはじめとするシティプロモーションに関する部分は、1つの柱のここと示すことは難しい。シティプロモーションの取り組みには、町への愛着や魅力の発信という様々な項目があり、基本政策の色々なところに当てはまると考えている。
- (会長) : むしろ、基本政策6は「空港や圏央道」の項目だけにするのではなく、「特徴のあるまちづくり」「周辺との連携」「人の流動化」「シティプロモーション」をキーワードとしてはどうか。検討していただきたい。また、他の柱については、これまでの継承ということであるが、計画として継承型とするか未来志向型とするのかについても、今後検討していくべき部分であると思う。それでは各委員さんから意見をいただきたい。
- (委員A) : 個人的な考えとしては内容として余裕を持たせた計画書にする方が良いように思う。都市計画マスタープラン（以下、都市マス）等、個別計画との連動を考えると、上位計画である総合計画の内容が固まりすぎていると下位の計画の策定の際に難しくなる可能性がある。内容としてどちらともとれるような文章表現にした方が良い。
- (会長) : 都市マスの会議にも出席しているが、都市マスとして土地利用の部分等はかなり詳細な内容になっている。総合計画の方にも土地利用の部分はあるかと思うが、どう組み込んでいくか、今後検討する必要がある。
- (委員A) : 都市マス、農業振興計画など策定期間が重なっている状況。整合性についてはどう考えているか。
- (事務局) : 部会や策定委員会等でも、各部署で話をしつつ連携しながら進めている。整合性についてはしっかりと図っていく。
- (委員B) : 基本政策6に関わる空港・圏央道に関して、多古町の中にも、空港隣接の地域として移転・騒音などの課題や様々な背景を持つ住民がいる。総合計画の策定と合わせて、今後どういった対応をしていくのかについても考える必要があると感じている。また、住民の願いとして最も大きいものが鉄道。鉄道が無い分、道路が生命線となっているので、道路の整備についても考えていくべき。また、企業誘致に関しても、空港関連の企業についても考えていけるように。農業の後継者の生活について等も様々な考えていく必要があると思う。
- (委員C) : 基本政策3の教育に関する部分について、空港に近いこの好立地を活かして、子ども達が空港を身近に感じられる教育を進めていければと思う。そして、子ども達が大きくなったら、この土地に住みながら空港で働けるようになればいいと思う。そういった部分に関して、教育は重要であると思う。
- (委員D) : 安心・安全に関わる部分で、虐待の問題が気になる。虐待のような問題は、なかなか表に出てきにくい。SOSに気付けるようなまちづくり、そういった視点を盛り込んでいただけたらと思う。
- (委員E) : 教育に関する柱が基本政策の3つ目にきているのは、教育の重要性が強調されているのだなと感じている。多古高校では「根っこをしっかりと張ろう」という考えで教育をしている。花や幹よりも、根っこを大切に教育。教育の重要性について、総合計画で大きいところに記載があることは喜ばしいと思う。
- (委員F) : 基本政策6について、会長の意見に賛同する。空港や圏央道に係る部分は、他にはなかなかない大きなプロジェクトである。今後の動きの中で見えてくるものもあると思うので、そういった部分を反映していけたら。また、最近では町の魅力発信の動きも出てきている中で、多古をPRし、まちの特徴を示すというコンセプト、さらに、空港等の動きで変わってきて

いる多古町についての周知についても、基本政策6において定められたらと思う。

(委員G) : 6本の柱があるが、基本政策の内容によって重みづけし、その重さによって順番を変えていく必要もあると思う。やはり空港に係る動きが大きいので、順番として検討していくべき。また、「本町」と「町」と「多古町」と書きぶりが様々になっているのでそういった部分は揃えていただきたい。

(委員H) : 圏央道に関する部分で、大きい道路が出来てくると、車の出入りも多くなり、大きなトラックが走る機会も多くなる可能性がある。そういった部分に関連して子どもの通学路の安全性についても、再度考えていくべきと思う。

(委員I) : 柱の順番の話があったが、福祉と教育が上位となっており嬉しい。地域共生社会などは数字にしにくく評価もしにくい部分ではあると思うが、多古町の福祉は大変優れており、他の自治体からお褒めの言葉をいただくこともしばしばある。せつかくの多古町の良いところ、環境整備などの評価のしやすいものがあると思うが、福祉分野、優先してほしい。福祉に関しては居場所があることが重要であると思う。総合戦略にも記載があったが、そういった視点を大事にしてほしい。また、福祉と教育は別個になることが多いが、「福祉の教育」という観点も必要であると思う。福祉分野では人材確保が課題。次世代育成の観点で、教育と福祉が一体となったら良い。

(委員J) : 昨年度、女性大学に参加させていただいたなかで、自分より年上の世代との交流もたくさんあった。体験を通して生きがいを感じられると良いと感じる。単に健康だけでなく、充実した「生きがい」があると良い。地域における世代を超えた交流は基本政策2や基本政策5につながる部分だと思うが、高齢者が元気になる取り組みも進めていってほしい。

(委員K) : 近年は、いわゆるローカルベンチャーといわれる、若手企業家が地方で事業を起こす事例が増えてきている。そういった若者が参加しやすい環境づくり、間口の広いまちといったニュアンスがあると良い。農業+αとか、圏央道整備による物流の推進とか、未来技術の革新とか、そういった部分が活性化してくるともっと外から参加しやすくなると思う。将来目標のキーワードは「臉の裏の多古町」。原風景のなかにある多古町の魅力、見つけられると良い。

(委員L) : チャレンジに寛容なまちであってほしい。強い農業と新たな物流から新しいビジネスに繋げていけるような。そして大きくなった事業をPRして、既存の町民も一緒にまちを活性化していけるようになれば良い。

(オガバー) : 基本政策5と6、この2つの柱は他の部分全体にも関わる部分であると思うので、横断的な政策にすると良いと思う。

(委員M) : 多古町は空港に隣接するまちから「空港があるまち」になる。子ども達が出て行かない、子ども達が定住するようなまちになることが重要。働く場所の整備をはじめとして、未来を担う子ども達に向けた取り組み、そこは強化したい。また、多古町は福祉が手厚いまちであるが、他の市や町と比べていないから中に入ると気付けない。魅力がある多古町をもっと上手にPRできたらもっと人が増えると思う。

(委員B) : 町外の方に「多古に越して来たら？」と話すと「電車が無い」といわれる。やはり交通はネックとなるようなので、例えばモノレールを作るなどはどうだろうか。

(会長) : 都市マスでも出てくる意見だが、交通基盤を作るためにはお金についても考えないといけない。例えば、今あるコミュニティバスの利用者が増えれば、バスが増便され、便利になっ

てさらに増便、料金も安くなるといった好循環もあるだろう。また、バスに電車の絵をラッピングする自治体もあると聞く。アイデア次第で変えられる部分でもあるように思う。

(オガバー)：基本政策5についての文章は、第2段落の部分が重要だと思う。その部分のメッセージ性を強くすると良いと思う。

(会長)：総合計画は「10年間のまちの経営計画」ともいえる。町がつくるべきものだが、地域住民の力も欠かせない要素。住民の方と共に汗をかけるプランにしていければ良い。

(3) その他

(事務局)：骨子案の計画の位置づけにも記載させていただいたが、基本構想について策定義務が撤廃とある。それに関して、来年度に条例化して議会承認を受けることを検討していることをお知らせさせていただく。

4. その他

(事務局)：来年度のスケジュールについては、審議会は2回ないし3回を予定している。次回の審議会は8月を予定。本日のご意見を踏まえた基本構想をお示しできたらと考えている。まちの将来像についても町民ワークショップ等を実施しながら今後検討を進めたい。また、来年度以降で役職や所属の変更などがあれば事務局まで連絡をお願いしたい。

5. 閉会

以上